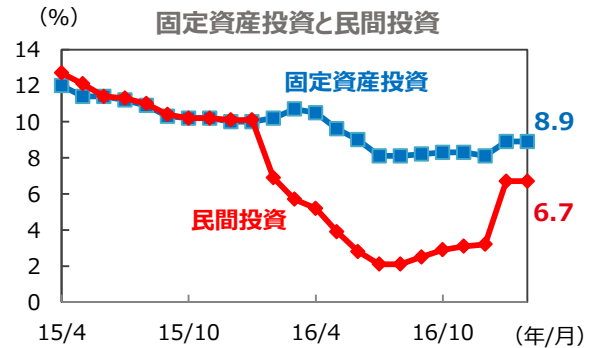


今日のトピック 最近の指標から見る中国経済（2017年3月）

生産や投資が加速し、安定成長が続く見込み

ポイント1 固定資産投資の伸び拡大 民間投資の伸びは加速

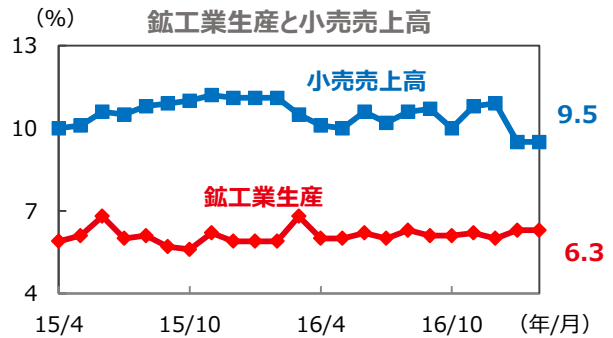
- 1～2月の固定資産投資は前年同期比+8.9%と、16年1～12月（同+8.1%）から増加率が拡大し、市場予想（ブルームバーグ、8.3%）を上回りました。
- 固定資産投資全体の約6割を占める民間投資の伸びが同+6.7%と、16年1～12月（同+3.2%）から加速したことが背景です。



(注) データは2015年4月～2017年2月、年初来累計の前年同期比。1月、2月は1-2月の前年同期比。数字は2017年1-2月。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ポイント2 鉱工業生産は伸び拡大 生産者物価は上昇加速

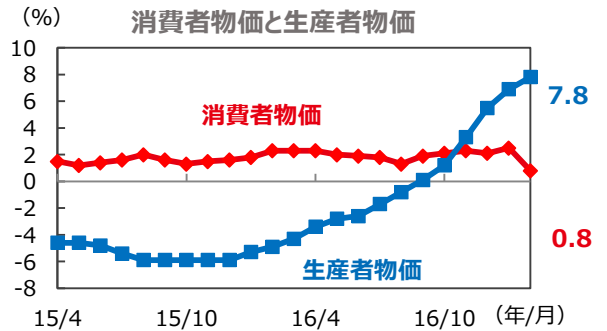
- 1～2月の鉱工業生産は前年同期比+6.3%と、16年12月（同+6.0%）から伸び率が拡大しました。
- 一方、1～2月の小売売上高は前年同期比+9.5%と、16年12月（同+10.0%）から伸び率が縮小しました。17年1月に減税規模が縮小した自動車販売が減速しました。
- また、2月の生産者物価は前年同月比+7.8%上昇しました。鉄鋼や石炭の価格上昇が全体を押し上げ、2008年9月以来の高水準となりました。生産者物価はデフレ局面を完全に脱しています。



(注) データは2015年4月～2017年2月、前年同月比。1月、2月は1-2月の前年同期比。数字は2017年1-2月。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 経済は安定成長が続く

- 最近の経済指標は、高水準の消費の伸びがやや鈍化したものの、生産活動の上向き、民間投資の回復、デフレ脱却など、中国経済が底堅く推移していることを示しています。今後も財政政策に支えられ、安定した経済成長が続く見込みです。



(注) データは2015年4月～2017年2月、前年同月比。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ここもチェック! 2017年3月 6日 全人代が開幕 (中国)
2017年2月23日 落ち着きつつある「70都市住宅価格」 (中国)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。